

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

会社名 日本貨物鉄道株式会社

URL <http://www.jrfreight.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 犬飼 新

問合せ先責任者 (役職名) 総務部広報室長 (氏名) 中村 愛

TEL 050-2017-4180

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	207,605	3.4	3,235	19.5	2,406	65.3	1,226	△81.9
2025年3月期	200,751	6.5	2,706	—	1,456	—	6,758	—

(注) 包括利益 2026年3月期 5,144百万円 (△46.4%) 2025年3月期 9,602百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	3,226.52	—	1.2	0.5	1.6
2025年3月期	17,785.37	—	7.3	0.3	1.3

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	466,823	107,887	21.7	266,978.82
2025年3月期	456,835	102,753	21.2	254,612.79

(参考) 自己資本 2026年3月期 101,451百万円 2025年3月期 96,752百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	25,423	△33,895	10,639	43,010
2025年3月期	18,707	△17,378	18,394	40,843

2. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	219,000	5.5	6,400	97.8	5,000	107.7	2,000	63.1	5,263.16

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2026年3月期	380,000株	2025年3月期	380,000株
2026年3月期	—株	2025年3月期	—株
2026年3月期	380,000株	2025年3月期	380,000株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	167,521	3.2	1,095	64.0	3	—	△258	—
2025年3月期	162,287	6.4	668	—	△872	—	5,301	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	△680.50	—
2025年3月期	13,950.70	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	427,773	66,863	15.6	175,956.81
2025年3月期	417,376	67,088	16.1	176,547.65

2. 2027年3月期の個別業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	178,000	6.3	4,600	320.0	3,000	—	900	—	2,368.42

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については、決算短信 (添付資料) 5ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	4
(1) 当期の経営成績の概況	4
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更に関する注記)	14
(セグメント情報等の注記)	15
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18
4. 個別財務諸表及び主な注記	19
(1) 貸借対照表	19
(2) 損益計算書	21
(3) 株主資本等変動計算書	23

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度は、雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直しの動きがみられており緩やかな景気の回復基調が継続する一方で、中東地域をはじめとした地政学的な緊張の高まりや、米国の通商政策を巡る不確実性などが継続していることにより、依然として先行きは不透明な状況です。

このような状況の中、当社グループは「JR貨物グループ長期ビジョン2030」と、「JR貨物グループ中期経営計画2026」（以下、「中計2026」）で定めた基本方針を踏まえ、鉄道事業の基盤は安全であるという認識のもと安全体制の強化に継続的に取り組みながら、「作業記録の書き換え等の不適切事案の再発防止」、「安全基盤の強化と安定輸送の追求」、「グループ一体での鉄道×物流の総合力による輸送量の拡大」、「不動産事業の拡大と新規事業の展開」、「経営基盤の強化」、「貨物鉄道輸送の更なる役割発揮に向けた体制強化」の6つの取り組みを進めました。

しかしながら、農産品・青果物の生育不良や食料工業品等の荷動き低調による収入の伸び悩み、雪害や大雨をはじめとした自然災害による収入影響、国際情勢の混乱や円安等を背景とした物価高騰によるコストの増嵩が経営成績に影響を及ぼしました。

この結果、当連結会計年度の営業収益は前期比3.4%増の2,076億円、営業利益は前期比19.5%増の32億円、経常利益は前期比65.3%増の24億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比81.9%減の12億円となりました。

i) 鉄道ロジスティクス事業

鉄道ロジスティクス事業では、2024年9月に発生した輪軸組立作業に関する作業記録書き換え等の不正事案に関して、2024年10月31日に報告した「JR貨物の安全確保のために講ずべき措置」に基づいた対策を継続し、輸送の安全確保に全社一丸となって努めました。

輸送サービスにおいては、2025年3月のダイヤ改正において、東京（夕）と仙台（夕）を直結するコンテナ列車の設定や、リードタイムの短縮・深夜発ダイヤの拡充による利便性の向上をするとともに、ご要望の強い区間では輸送力を増強しました。また、近年ニーズが高まっている大型コンテナの取扱いの拡大を図りました。

当連結会計年度における輸送量は、コンテナが前期比101.6%、車扱が前期比98.1%となり、合計では前期比100.5%となりました。コンテナの品目では、エコ関連物資が、中央新幹線建設工事に伴う発生土の運搬により前年を上回ったほか、自動車部品は、一部顧客における増送が続いたことにより前年を上回りました。また、積合せ貨物は、ドライバー不足を背景とした鉄道利用の増加により増送となりました。車扱の品目では、石油について、平年より気温が高く推移し、燃料需要が減少した影響により前年を下回りました。また、亜鉛が輸送終了となった影響もあり減送となりました。

総合物流事業の推進としては、4月に日本運輸倉庫株式会社から社名変更したJR貨物ロジ・ソリューションズ㈱を中心に、グループ会社の倉庫機能を結節点として、貨物鉄道をはじめ様々な輸送モードを活用し、物流をトータルで提案する体制を整え、総合物流サービスを展開しました。今後も当社グループ会社全体のサービスを結集して、物流全体からスポット的な需要までお客様のニーズに応じた多彩な輸送サービスを提供し、更なる成長を図っていきます。

経費面では、安全の確立、安定輸送の確保、輸送品質の維持等の事業継続に必要な経費は着実に執行したうえで、業務の効率化の取り組みを継続してきましたが、物価の高騰などにより車両修繕費等の修繕費や線路使用料等が上昇しました。

この結果、当連結会計年度の営業収益は前期比1.6%増の1,832億円、営業損失は119億円（前期は営業損失85億円）となりました。

ii) 不動産事業

不動産事業では、賃貸マンションの「フレシア立川」（東京都立川市）が2025年8月、「フレシア天王寺」（大阪市阿倍野区）が2026年1月に竣工、賃貸を開始しました。また、分譲マンション「ブライトタウン天竜川駅前フレシア」（浜松市中央区）は順調に販売が進み、2026年3月までに全戸完売を達成しました。

その他、西橋本社宅跡地の土地持分譲渡、昨年度組成した第1号不動産私募ファンドへの土地譲渡による譲渡益計上のほか、大規模修繕工事の計画見直し等により経費削減に努め、全体として収益性が向上しました。

この結果、当連結会計年度の営業収益は前期比18.5%増の258億円、営業利益は前期比36.7%増の148億円となりました。

iii) その他

その他では、リースアップ品売却における入札方式を変更したことから、売却単価の引き上げに成功し、利益率・利益額ともに大幅に上昇しました。商品流通部門では商品販売及び鉄道資材の売り上げ増により同じく収益は前年を上回りました。資源循環部門は、金属スクラップ市況が乱高下する中ではありましたが、前年並みの収

益を上げました。鉄道グッズ販売部門、保険事業部門は前年度より収益が微減となりました。業務委託部門では、コスト上昇分を業務の見直しで吸収し前年度並みの実績でした。

この結果、当連結会計年度の営業収益は前期比2.2%増の48億円、営業利益は前期比45.1%増の2億円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

営業活動によるキャッシュ・フローについては、営業債務や退職給付に係る負債の増加と未収運賃等の営業債権の減少等により、前期の流入額に比べ67億円増となり254億円の流入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、有形及び無形固定資産の取得による支出の増加や工事負担金等受入による収入の減少や有形固定資産の売却収入の減少等により、前期の流出額に比べ165億円減の338億円の流出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、長期借入れによる収入の増加や社債発行による収入の減少等により、前期の流入額に比べ77億円減の106億円の流入となりました。

なお、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ21億円増の430億円となりました。

また、当連結会計年度末の長期借入金残高は、前連結会計年度末に比べ9億円増の1,911億円となりました。

(3) 今後の見通し

国内景気は雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直し等が緩やかな回復基調を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響や米国の通商政策の動向等、先行きは依然として不透明な状況です。物流業界においては、「物流の2024年問題」による輸送力不足、人手不足が更に深刻化するほか、物流効率化法の施行によるCLO（物流統括責任者）選任義務化、GX推進法に基づく排出量取引制度の開始など、当社グループを取り巻く環境は大きな構造的転換を迎えることが見込まれます。

このような状況の中で、2026年度は3ヶ年の中計2026の最終年度にあたります。鉄道事業の基盤である安全と企業運営の基盤であるガバナンスの強化により、お客様から信頼される貨物鉄道輸送を確立し、JR貨物グループの力を結集した鉄道×物流の総合力による輸送量の拡大、鉄道を基軸とした総合物流事業のさらなる成長を通じて、社会課題の解決に貢献する「なくてはならない存在」を目指していきます。

2026年度の事業計画では「安全の価値観の定着・浸透」「安定輸送の追求」「鉄道×物流の総合力による輸送量の拡大」「鉄道と不動産の一体的な取り組みによる収益力の向上」「不動産事業の拡大と新規事業の展開」「経営基盤の強化、更なる役割発揮に向けた体制強化」の6つの基本方針を掲げており、引き続き「日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律」に基づく「設備投資等に係る無利子貸付」などの国からの支援を最大限活用していきます。

当連結会計年度は、全事業で連結・単体とも増収、営業利益および経常利益で増益となりましたが、土地譲渡による増収効果も大きく、鉄道ロジスティクス事業の損失が拡大していることも踏まえると、更なる収支改善が必要です。原料費、燃料費、人件費などの高騰が続いており、当社においても各種コストが増加しているなかで、さまざまなコスト削減に取り組んでおりますが、当社の努力だけでは吸収困難なコスト上昇分について運賃改定を実施し、物流課題、社会課題に関する貨物鉄道輸送への期待に応えながら、回転型不動産ビジネス等による不動産事業の拡大を通じて安定的・持続的な成長を目指していきます。

以上の内容を踏まえた現時点での業績見通しは以下の通りです。

通期連結業績見通し

営業収益	2,190億円（前年度比　＋5.5%）
営業利益	64億円（前年度比　＋97.8%）
経常利益	50億円（前年度比　＋107.7%）
親会社株主に帰属する当期純利益	20億円（前年度比　＋63.1%）

(参考) 個別業績見通し

営業収益	1,780億円（前年度比　＋6.3%）
営業利益	46億円（前年度比　＋320.0%）
経常利益	30億円（前年度比　—）
当期純利益	9億円（前年度比　—）

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準を採用しており当面 IFRS の適用を予定しておりませんが、今後の我が国における会計基準の動向等を勘案し対応を検討していきます。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,104	43,491
受取手形及び売掛金	9,878	9,777
未収運賃	9,012	8,720
棚卸資産	7,388	10,779
未収入金	9,075	9,059
その他	4,151	4,780
貸倒引当金	△4	△7
流動資産合計	80,607	86,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	162,617	162,812
機械装置及び運搬具（純額）	114,837	110,732
土地	41,106	43,644
建設仮勘定	11,487	13,987
その他（純額）	9,912	11,706
有形固定資産合計	339,960	342,882
無形固定資産	5,042	5,663
投資その他の資産		
投資有価証券	16,227	16,960
繰延税金資産	7,349	6,142
その他	7,699	8,602
貸倒引当金	△53	△30
投資その他の資産合計	31,223	31,674
固定資産合計	376,227	380,220
資産合計	456,835	466,823

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,108	1,433
短期借入金	410	1,170
1年内返済予定の長期借入金	14,820	19,783
未払金	25,792	24,221
未払法人税等	1,280	738
未払消費税等	1,186	407
前受金	10,991	12,370
賞与引当金	4,951	5,198
環境対策引当金	66	0
その他	7,298	6,731
流動負債合計	67,906	72,054
固定負債		
社債	44,000	54,000
長期借入金	175,410	171,383
繰延税金負債	78	132
退職給付に係る負債	32,050	28,096
役員退職慰労引当金	612	485
環境対策引当金	4	2
預り保証金	25,596	23,957
その他	8,422	8,822
固定負債合計	286,175	286,880
負債合計	354,081	358,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,000	19,000
資本剰余金	16,651	16,651
利益剰余金	53,650	54,876
株主資本合計	89,302	90,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,134	1,523
退職給付に係る調整累計額	6,315	9,399
その他の包括利益累計額合計	7,450	10,923
非支配株主持分	6,000	6,435
純資産合計	102,753	107,887
負債純資産合計	456,835	466,823

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業収益	200,751	207,605
営業費		
運輸等営業費及び売上原価	182,567	188,179
販売費及び一般管理費	15,477	16,190
営業費合計	198,044	204,370
営業利益	2,706	3,235
営業外収益		
受取利息	28	187
受取配当金	132	143
持分法による投資利益	—	185
匿名組合投資利益	101	14
物品売却益	129	157
その他	232	261
営業外収益合計	623	949
営業外費用		
支払利息	1,310	1,440
持分法による投資損失	272	—
匿名組合投資損失	11	16
その他	279	321
営業外費用合計	1,874	1,778
経常利益	1,456	2,406
特別利益		
固定資産売却益	5,302	444
工事負担金等受入額	8,602	723
投資有価証券売却益	69	302
その他	208	41
特別利益合計	14,182	1,511
特別損失		
固定資産除却損	1,034	869
固定資産圧縮損	2,995	288
減損損失	168	68
輪軸組立関連損失	522	—
環境対策費	206	113
その他	411	164
特別損失合計	5,339	1,504
税金等調整前当期純利益	10,298	2,413
法人税、住民税及び事業税	1,373	1,233
法人税等調整額	1,961	△367
法人税等合計	3,334	865
当期純利益	6,963	1,548
非支配株主に帰属する当期純利益	205	322
親会社株主に帰属する当期純利益	6,758	1,226

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	6,963	1,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△325	423
退職給付に係る調整額	2,944	3,084
持分法適用会社に対する持分相当額	19	89
その他の包括利益合計	2,638	3,596
包括利益	9,602	5,144
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,418	4,699
非支配株主に係る包括利益	184	445

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	19,000	16,651	46,892	82,544
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益			6,758	6,758
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	—	—	6,758	6,758
当期末残高	19,000	16,651	53,650	89,302

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,419	3,371	4,790	5,816	93,151
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					6,758
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△284	2,944	2,659	184	2,844
当期変動額合計	△284	2,944	2,659	184	9,602
当期末残高	1,134	6,315	7,450	6,000	102,753

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	19,000	16,651	53,650	89,302
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益			1,226	1,226
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	—	—	1,226	1,226
当期末残高	19,000	16,651	54,876	90,528

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,134	6,315	7,450	6,000	102,753
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					1,226
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	388	3,084	3,473	434	3,907
当期変動額合計	388	3,084	3,473	434	5,133
当期末残高	1,523	9,399	10,923	6,435	107,887

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	10,298	2,413
減価償却費	23,765	23,899
減損損失	168	68
長期前払費用償却額	203	219
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△658	561
受取利息及び受取配当金	△160	△331
支払利息	1,310	1,440
持分法による投資損益 (△は益)	272	△185
工事負担金等受入額	△8,602	△723
固定資産売却損益 (△は益)	△5,302	△444
固定資産除却損	2,037	2,459
固定資産圧縮損	2,995	288
営業債権の増減額 (△は増加)	△1,151	596
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,277	△3,363
営業債務の増減額 (△は減少)	△3,493	3,801
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	25	△67
預り保証金の増減額 (△は減少)	△904	△1,937
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△272	△707
未収消費税等の増減額 (△は増加)	10	△514
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△414	277
その他	1,601	665
小計	20,453	28,416
利息及び配当金の受取額	153	325
利息の支払額	△1,010	△1,190
法人税等の支払額	△908	△2,128
法人税等の還付額	18	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,707	25,423
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△26,671	△34,908
有形及び無形固定資産の売却による収入	5,810	518
工事負担金等受入による収入	5,156	2,375
固定資産の除却による支出	△1,671	△1,021
資産除去債務の履行による支出	△87	△794
投資有価証券の取得による支出	△70	△865
投資有価証券の売却による収入	88	572
定期預金の預入による支出	△100	△15,270
定期預金の払戻による収入	—	15,000
その他	169	498
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,378	△33,895
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	760
長期借入れによる収入	19,221	15,892
長期借入金の返済による支出	△14,319	△14,956
社債の発行による収入	14,000	10,000
非支配株主への配当金の支払額	—	△11
その他	△307	△1,046
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,394	10,639
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	19,723	2,166
現金及び現金同等物の期首残高	21,119	40,843
現金及び現金同等物の期末残高	40,843	43,010

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社は、「鉄道ロジスティクス事業」、「不動産事業」の2つを報告セグメントとしており、各報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「鉄道ロジスティクス事業」は、貨物鉄道輸送を中心とした総合物流事業を展開しております。「不動産事業」は、土地、建物等の貸付等の事業を展開しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	鉄道ロジスティクス事業	不動産事業	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	180,145	20,078	527	200,751	—	200,751
セグメント間の内部売上高 又は振替高	307	1,753	4,169	6,230	△6,230	—
計	180,453	21,831	4,697	206,981	△6,230	200,751
セグメント利益又は損失 (△)	△8,520	10,876	145	2,501	205	2,706
セグメント資産	367,230	51,815	17,064	436,110	20,724	456,835
その他の項目						
減価償却費	21,302	2,453	9	23,765	—	23,765
減損損失	168	0	—	168	—	168
持分法適用会社への投資額	10,694	—	0	10,694	—	10,694
有形及び無形固定資産の増 加額 (注) 5	23,084	4,694	9	27,788	—	27,788

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額205百万円には、固定資産及び棚卸資産の未実現損益の消去額16百万円、セグメント間取引消去188百万円が含まれております。また、セグメント資産の調整額20,724百万円には、セグメント間債権債務消去等△15,899百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産36,624百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 報告セグメントごとの負債は、経営資源の配分の決定及び業績評価に使用していないため、記載しておりません。

5 有形及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	鉄道ロジスティクス事業	不動産事業	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	182,958	24,086	560	207,605	—	207,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	301	1,781	4,241	6,324	△6,324	—
計	183,260	25,868	4,801	213,930	△6,324	207,605
セグメント利益又は損失 (△)	△11,989	14,871	210	3,092	142	3,235
セグメント資産	370,930	57,213	17,713	445,857	20,965	466,823
その他の項目						
減価償却費	21,591	2,294	13	23,899	—	23,899
減損損失	68	0	—	68	—	68
持分法適用会社への投資額	10,969	—	0	10,969	—	10,969
有形及び無形固定資産の増 加額 (注) 5	24,740	5,180	25	29,945	—	29,945

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失（△）の調整額142百万円には、固定資産及び棚卸資産の未実現損益の消去額2百万円、セグメント間取引消去140百万円が含まれております。また、セグメント資産の調整額20,965百万円には、セグメント間債権債務消去等△17,448百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産38,414百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失（△）は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 報告セグメントごとの負債は、経営資源の配分の決定及び業績評価に使用していないため、記載しておりません。

5 有形及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

【関連情報】

1 製品及びサービスごとの情報

前連結会計年度および当連結会計年度については、製品及びサービスの区分が報告セグメント区分と同一であるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

前連結会計年度および当連結会計年度については、本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

前連結会計年度および当連結会計年度については、本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
日本通運株式会社	37,758	鉄道ロジスティクス事業等

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
日本通運株式会社	37,271	鉄道ロジスティクス事業等

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	鉄道ロジスティクス事業	不動産事業	その他	計	全社・消去	連結財務諸表計上額
減損損失	168	0	—	168	—	168

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	鉄道ロジスティクス事業	不動産事業	その他	計	全社・消去	連結財務諸表計上額
減損損失	68	0	—	68	—	68

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	254,612.79円	266,978.82円
1株当たり当期純利益	17,785.37円	3,226.52円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	6,758	1,226
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	6,758	1,226
普通株式の期中平均株式数(株)	380,000	380,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,412	31,565
未収運賃	13,747	13,483
未収金	7,624	6,849
未収還付法人税等	-	340
未収消費税等	-	371
未収収益	526	541
販売用不動産	1,379	3,306
商品	1	1
仕掛品	28	1
貯蔵品	5,935	7,451
前払金	1,223	1,247
前払費用	733	809
その他の流動資産	107	110
流動資産合計	59,717	66,079
固定資産		
鉄道事業固定資産		
有形固定資産	680,858	684,698
減価償却累計額	△420,121	△426,790
有形固定資産（純額）	260,736	257,908
無形固定資産	2,880	3,709
計	263,616	261,618
関連事業固定資産		
有形固定資産	97,391	101,831
減価償却累計額	△50,651	△52,389
有形固定資産（純額）	46,739	49,442
無形固定資産	0	0
計	46,740	49,443
各事業関連固定資産		
有形固定資産	24,900	24,350
減価償却累計額	△17,164	△16,650
有形固定資産（純額）	7,735	7,700
無形固定資産	1,101	788
計	8,837	8,489
建設仮勘定		
鉄道事業	10,642	13,723
関連事業	458	385
各事業関連	486	24
計	11,587	14,133
投資その他の資産		
関係会社株式	10,409	10,409
投資有価証券	1,593	1,425
長期貸付金	490	512
長期前払費用	727	1,237
繰延税金資産	8,896	9,209
その他の投資等	5,286	5,716
貸倒引当金	△527	△501
投資その他の資産合計	26,876	28,010
固定資産合計	357,658	361,694
資産合計	417,376	427,773

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	8,762	13,470
1年内返済予定支配株主からの長期借入金	4,042	5,266
リース債務	3,602	3,848
未払金	25,897	24,931
未払費用	745	882
未払法人税等	798	280
未払消費税等	816	—
預り金	855	782
前受金	10,700	12,070
前受収益	2,167	2,102
賞与引当金	3,692	3,830
環境対策引当金	66	0
資産除去債務	709	26
その他の流動負債	2,004	1,829
流動負債合計	64,862	69,324
固定負債		
社債	44,000	54,000
長期借入金	77,071	68,600
支配株主からの長期借入金	90,881	95,031
リース債務	5,707	7,680
退職給付引当金	38,848	39,224
役員退職慰労引当金	306	286
環境対策引当金	4	2
資産除去債務	104	253
預り保証金	24,543	22,870
その他の固定負債	3,958	3,634
固定負債合計	285,425	291,585
負債合計	350,288	360,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,000	19,000
資本剰余金		
資本準備金	15,300	15,300
資本剰余金合計	15,300	15,300
利益剰余金		
その他利益剰余金		
圧縮積立金	13,471	12,256
繰越利益剰余金	19,114	20,071
利益剰余金合計	32,586	32,327
株主資本合計	66,886	66,628
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	201	235
評価・換算差額等合計	201	235
純資産合計	67,088	66,863
負債純資産合計	417,376	427,773

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
鉄道事業営業利益		
営業収益		
貨物運輸収入	122,961	123,896
運輸雑収	21,483	21,938
鉄道事業営業収益合計	144,445	145,835
営業費		
運送営業費	119,764	123,756
一般管理費	8,700	9,235
諸税	6,464	6,604
減価償却費	19,612	19,810
鉄道事業営業費合計	154,542	159,406
鉄道事業営業損失(△)	△10,096	△13,571
関連事業営業利益		
営業収益		
不動産賃貸事業収入	16,290	15,847
不動産販売事業収入	1,529	5,790
雑収入	22	48
関連事業営業収益合計	17,842	21,686
営業費		
売上原価	2,252	2,195
販売費及び一般管理費	647	684
諸税	1,713	1,805
減価償却費	2,464	2,334
関連事業営業費合計	7,077	7,020
関連事業営業利益	10,764	14,666
全事業営業利益	668	1,095
営業外収益		
受取利息	17	158
受取配当金	48	61
物品売却益	350	320
雑収入	54	53
営業外収益合計	471	594
営業外費用		
支払利息	830	742
社債利息	406	636
貸倒引当金繰入額	490	-
雑支出	285	307
営業外費用合計	2,012	1,685
経常利益又は経常損失(△)	△872	3
特別利益		
固定資産売却益	5,285	365
工事負担金等受入額	8,585	530
投資有価証券売却益	-	228
その他	194	10
特別利益合計	14,066	1,135

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
特別損失		
固定資産除却損	1,028	868
固定資産圧縮損	2,979	96
減損損失	114	51
輪軸組立関連損失	522	-
環境対策費	206	122
その他	514	105
特別損失合計	5,366	1,243
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	7,827	△104
法人税、住民税及び事業税	619	481
法人税等調整額	1,906	△327
法人税等合計	2,526	154
当期純利益又は当期純損失 (△)	5,301	△258

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
			圧縮積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	19,000	15,300	8,918	18,366	27,285	61,585
当期変動額						
圧縮積立金の積立			5,180	△5,180	—	—
圧縮積立金の取崩			△461	461	—	—
税率変更による積立金の調整額			△165	165	—	—
当期純利益				5,301	5,301	5,301
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						
当期変動額合計	—	—	4,553	747	5,301	5,301
当期末残高	19,000	15,300	13,471	19,114	32,586	66,886

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	293	293	61,879
当期変動額			
圧縮積立金の積立			—
圧縮積立金の取崩			—
税率変更による積立金の調整額			—
当期純利益			5,301
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△92	△92	△92
当期変動額合計	△92	△92	5,208
当期末残高	201	201	67,088

当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本準備金	その他利益剰余金			
			圧縮積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	19,000	15,300	13,471	19,114	32,586	66,886
当期変動額						
圧縮積立金の積立			430	△430	—	—
圧縮積立金の取崩			△1,645	1,645	—	—
当期純利益				△258	△258	△258
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）						
当期変動額合計	—	—	△1,215	956	△258	△258
当期末残高	19,000	15,300	12,256	20,071	32,327	66,628

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	201	201	67,088
当期変動額			
圧縮積立金の積立			—
圧縮積立金の取崩			—
当期純利益			△258
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）	34	34	34
当期変動額合計	34	34	△224
当期末残高	235	235	66,863